

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.164)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 秋期定期点検を実施中

当施設では、11月24日(金)から12月27日(水)まで、34日間の予定で秋期定期点検を行っています。



●災害防止協議会の開催

定期点検開始に先立ち、11月13日(月)に、作業を実施する各社の現場監督者等が一堂に会して「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検期間中の作業において事故や災害を発生させないことを目的に開催しており、JESCO独自の作業ルールや安全対策などを確認しました。

また、この定期点検期間中には週1回のペースで安全パトロールを行い、作業が安全に行われているか、更なる改善事項がないかを作業現場で確認しています。

●11月の実施作業

◆DCSシステム機器等更新

施設全体の監視制御を行うDCS(分散型制御システム)を更新します。

この装置は施設を安全に稼働させるのに大変重要な装置で、今回の更新は機器の保全対策及びセキュリティ強化等を目的としたものです。

右写真はHIS(中央監視装置)本体の交換作業です。多数の配線がありますので、慎重に作業を進めております。



◆第2オイルスクラバ内部点検及びデミスタ交換

オイルスクラバは処理設備からの排気に含まれるPCBを除去する重要な設備です。昨年度の秋期定期点検で交換を実施した第1オイルスクラバに続き、本年度は第2オイルスクラバでデミスタの交換を実施しました。

処理完了まで排気処理を確実に実施していくため、内部に腐食や堆積物等がないか確認した上で、スクラバ内部に設置されているデミスタを新品と交換しました。左写真は内部にあるデミスタの新品交換後の様子です。

2. 静岡県庁による施設視察



11月14日(火)に静岡県による当施設の視察がありました。静岡県庁廃棄物リサイクル課4名のほか、高濃度PCB廃棄物保管事業者の直接の担当窓口である地域(賀茂・東部・中部・西部)健康福祉センター9名の計13名が参加されました。

今回の視察は、静岡県内の高濃度PCB廃棄物保管事業者等に対し、処分期限までに適正に処理するよう指導していくため、高濃度PCB廃棄物の処理の流れ及び状況等を把握することが主な目的です。

当日は、施設紹介ビデオの視聴後、見学通路からのPCB処理設備、更に情報公開ルームの展示品等をご覧いただきました。JESCOからの説明を聞かれ、熱心にメモをとられたり、写真を撮られていました。

「わかっているようで、わかっていなかったところを学ぶことができました。」「PCB処理の実情がよくわかりました。」などの感想をいただきました。



3. 社員提案制度の表彰

豊田PCB処理事業所では『社員提案制度』を実施しています。これは、安全で確実な操業、作業効率化・合理化及びコスト削減等を目指し、社員から随時、自発的に提案してもらい、優秀な提案について表彰するものです。

平成29年度第1回(平成29年3月～平成29年8月分)には全49件の提案があり、最優秀賞1件、優秀賞2件、佳作3件を選出し、11月21日(火)に表彰いたしました。提案の多くは更なる安全性向上を図るものでした。これら提案の実現により、一層の安全・安定的な操業に取り組んでまいります。



デジ丸

問い合わせ先

アザランのピーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>